

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	6,573千円	6,330千円	6,438千円	0千円
	総人件費	31,651千円	43,930千円	47,463千円	
	総事業コスト	38,224千円	50,260千円	53,901千円	

部等名	課等名	係等名
総務部	契約検査課	入札管理係・契約管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	15	事業契約に要する経費

事務事業名	01 入札・契約事務事業	指標名	入札実施件数及び申請(審査)の実施件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	・年間入札実施件数 ・入札参加資格登録申請(審査)件数		
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-	-			-	
	-	実績	入札実施889件 登録申請453者	入札実施825件 登録申請3354者	入札実施800件 登録申請442者	入札実施792件 登録申請3245者	-								
総合戦略	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-			
	-		-	-	-	-	-	-	-	-					
市長公約	No.57	事業計画	全面一般競争入札及び電子入札により、公正・円滑な契約締結をする。 平成29年9月及び平成30年2月に、申請受付及び資格審査を実施する。 有資格者名簿の作成及び公表、登録業者情報に関する変更届の処理を行う。				全面一般競争入札及び電子入札により、公正・円滑な契約締結をする。 平成30年9月及び平成31年2月に、申請受付及び資格審査を実施する。 有資格者名簿の作成及び公表、登録業者情報に関する変更届の処理を行う。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	-		活動実績	・入札実施実績 一般競争入札792件(内訳:建設工事235件,コンサル128件,物品・役務・印刷429件) ・平成29年9月及び平成30年2月に申請受付及び資格審査を実施(処理件数:平成29年9月追加受付60者,平成30年2月定期受付3,185者) ・有資格者名簿の作成及び公表、登録業者情報に関する変更届の処理 ・円滑な申請ができるように、提出書類チェックリストなどの見直しを行った。 ・入札制度の見直しを図り、入札制度方針(案)を作成し、議会への報告を行った。				上半期活動実績				事業費(A)	6,430千円	6,188千円	6,167千円
根拠法令等	つくば市契約規則,つくば市入札参加者選定等取扱要綱	成果	競争性の確保や入札事務の透明性、効率化を図れた。 市発注事業の受注希望事業者に対し、資格登録の申請及び審査を実施し、公正かつ適正な入札・契約事務の執行を図ることができた。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事业	課題	-				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	一部委託	事業の概要	入札及び契約に関する事務(つくば市入札審査委員会の開催,入札の執行,契約書(売買,賃借,請負その他の契約)の作成)及び全業種全面一般競争入札を実施している。 入札参加資格の登録に係る申請受付及び書類審査を、年2回(2月・9月)実施し、審査から業者情報のシステム登録を経て、有資格者名簿を作成のうえ公表する。なお、登録業者情報は、庁内イントラネットにより、事業担当課が発注時の業者選定等に活用できる。				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	公共調達の入札及び契約手続きにおける競争性の確保及び適正な契約を確保するため。 また入札参加資格登録希望者が行う申請にあっては、資格の審査、情報の登録及び有資格者名簿の管理等を行い、登録情報を各事業担当課が利用することにより、発注事務の効率的かつ適正な執行を図るため。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	内訳	その他特財	391千円	389千円	519千円
		評価	有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-			一般財源	6,039千円	5,799千円	5,648千円	0千円	
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-			人件費(B)	27,443千円	39,936千円	43,681千円		
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-			正職員	従事割合	3.45人	5.00人	5.50人	
										時間外勤務	818.00時間	1744.00時間	1820.00時間		
										臨時職員等	有	有	無		
										事業コスト(A+B)	33,873千円	46,124千円	49,848千円		
										H31年度当初積算根拠	-				
										H31年度の方向性	-	理由	-		

ISO 14001	H29 環境関連性	○ 天然資源の枯渇防止	達成
		電子入札により、郵便・紙入札時の紙を削減	
	H30 環境関連性	○ 天然資源の枯渇防止	
		電子入札により、郵便・紙入札時の紙を削減	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
総務部	契約検査課	契約管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	15	事業契約に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	6,573千円	6,330千円	6,438千円	0千円
	総人件費	31,651千円	43,930千円	47,463千円	
	総事業コスト	38,224千円	50,260千円	53,901千円	

事務事業名	02 入札監視委員会等運営事業				指標名	抽出事案数及び委員会開催件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	入札監視委員会定例会議の開催件数及び定例会議時における抽出事案数			
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン	-	-	-	-		入札監視委員会 2回14件	入札監視委員会 2回14件	-	-	-	-	-							
	-	-	-	-	実績	入札監視委員会 2回14件	入札監視委員会 2回14件	入札監視委員会 3回14件	入札監視委員会 2回14件	-									
総合戦略	-	-	-	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-				
	-	-	-	-															
市長公約	-				事業計画	定例会議を2回(平成29年7月～8月,平成30年1月～2月)開催し,質疑及び評価並びに報告等を行う。この会議結果の概要は,市ホームページ内「入札のひろば」において公表する。 談合情報等が寄せられたとき,情報の信憑性等を勘案した上で必要に応じて委員会を開催し,事後の対応を協議し決定する。				定例会議を2回(平成30年7月～8月,平成31年1月～2月)開催し,質疑及び評価並びに報告等を行う。この会議結果の概要は,市ホームページ内「入札のひろば」において公表する。 談合情報等が寄せられたとき,情報の信憑性等を勘案した上で必要に応じて委員会を開催し,事後の対応を協議し決定する。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
個別計画	-													事業費(A)	143千円	142千円	271千円	0千円	
根拠法令等	つくば市入札監視委員会設置要綱,つくば市公正入札調査委員会設置要綱				活動実績	定例会議を2回(平成29年7月31日,平成30年2月2日)開催し,質疑及び評価並びに報告等を行った。この会議結果の概要は,順次市ホームページ内「入札のひろば」において公表した。 ・対象:785件中14件を抽出 公正入札調査委員会を開催なし。				上半期活動実績				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事业													県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ				成果	本委員会は外部委員で構成されており,公正な第三者の立場から市民目線の意見や専門的見地に立った助言等を得ることができた。この委員会の会議概要をホームページで公表していくことで,入札及び契約事務の内容や現状等の周知に努め,入札・契約関連の事務手続の透明性の向上に寄与することができた。				上半期成果				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	入札・契約適正化法(平成12年法律第127号)において努力義務とされている第三者委員会(外部委員で組織するもの)を設置し,これを適正に運営することにより,入札及び契約手続の公正性の確保及び透明性の向上に資するため。 また,談合情報等に対する的確な対応を図り,市が発注する工事又は製造の請負,業務委託,物件調達等に係る入札及び契約事務を適正に執行するため。													その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	定例会議を年2回(7月～8月,1月～2月の各1回)開催し,当番委員が抽出する市発注事業の入札及び契約に係る手続等について質疑・評価等を受けて適正な事務事業の執行に資する。会議は非公開であるが,会議結果等の概要は,市ホームページ内「入札のひろば」で公表している。 また,談合情報等が寄せられた際には,情報の信憑性等を勘案した上で必要に応じて委員会を開催し,事後の対応を協議し決定する。具体的な対応については「談合情報対応マニュアル」を策定している。				課題									一般財源	143千円	142千円	271千円	0千円	
ISO 14001	H29 環境関連性	-	-	-		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	人件費(B)	4,208千円	3,994千円	3,782千円		
	H30 環境関連性	-	-	-	評価	有効性	高:成果が向上(高水準を維持)している		評価	有効性	-		正職員	従事割合	0.55人	0.50人	0.50人		
						効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-		時間外勤務	67.00時間	174.00時間	90.00時間			
						総合評価	A:成果を維持して継続実施			総合評価	-		臨時職員等	無	無	無			
													事業コスト(A+B)	4,351千円	4,136千円	4,053千円			
													H31年度当初積算根拠						
													H31年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
総務部	契約検査課	工事検査係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	16	業務検査に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	585千円	560千円	785千円	0千円
	総人件費	22,570千円	21,772千円	28,879千円	
	総事業コスト	23,155千円	22,332千円	29,664千円	

事務事業名	01 優良建設工事業者表彰				指標名	優良建設工事業者の表彰者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	前年度優良建設工事業者の表彰者数						
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度										
戦略プラン	-				実績	8者	11者	11者	21者	-												
	-																					
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標		-						
	-																					
	-																					
市長公約	-				事業計画	つくば市建設業者褒賞要綱に基づき実施 ・4月中旬, 建設工事発注主管課説明会開催 ・4月下旬, 建設工事発注主管課長から推薦 ・5月下旬, つくば市建設業者褒賞審査委員会開催 ・6月上旬, 優良建設工事表彰業者決定 ・7月中旬, 表彰式開催				つくば市建設業者褒賞要綱に基づき実施 ・4月中旬, 建設工事発注主管課説明会開催 ・4月下旬, 建設工事発注主管課長から推薦 ・5月下旬, つくば市建設業者褒賞審査委員会開催 ・6月上旬, 優良建設工事表彰業者決定 ・7月中旬, 表彰式開催				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初				
個別計画	-					活動実績	つくば市建設業者褒章要綱に基づき実施 ・4月17日, 建設工事発注主管課説明会開催 ・4月24日までに建設工事発注主管課長から推薦 ・5月24日, つくば市建設業者褒章審査委員会開催 ・6月2日, 優良建設工事表彰業者決定 ・7月14日, 表彰式開催【表彰者21者】				上半期活動実績				事業費(A)	195千円	267千円	338千円	0千円			
根拠法令等	つくば市建設業者褒賞要綱				成果		建設業者の優れた功績をたたえ表彰することにより, より一層の責任感を持ち工事を完成することが期待される。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類	A 任意的事業					課題	-				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
執行体制	職員のみ				事業の概要		前年度完成の建設工事において工程管理・施工技術・高度の技術を必要とする工事を旺盛な責任感をもって完成させ, かつ技術が特に優れ, また, 災害等により緊急を要する工事を献身的な努力で克服したなど優れた業績を残した建設業者を選考し, 表彰を行う。				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	市が発注した建設工事を誠意を持って適正に施行し, 優れた成績で完成させた建設業者の事績をたたえ, もって建設業の健全な振興と市政の発展に資するため。					事業の進捗状況	達成				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
					改善目標の進捗状況		-				改善目標の進捗状況	-				一般財源	195千円	267千円	338千円	0千円		
事業の概要					評価	有効性 中:適切な成果が得られている				有効性 -				人件費(B)		2,198千円	2,133千円	2,843千円				
						効率性 中:適切な費用対効果が得られている				効率性 -				正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.40人				
ISO 14001	H29 環境関連性	-				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価 -				内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
	H30 環境関連性	-													臨時職員等	無	無	無				
															H31年度当初積算根拠		-					
															H31年度の方向性		-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	585千円	560千円	785千円	0千円
	総人件費	22,570千円	21,772千円	28,879千円	
	総事業コスト	23,155千円	22,332千円	29,664千円	

部等名	課等名	係等名
総務部	契約検査課	工事検査係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	16	業務検査に要する経費

事務事業名	02 工事・業務の検査事務				指標名	工事完成及び業務完了の検査数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	当該年度の工事完成等検査及び業務完了等検査数												
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																
戦略プラン	-				実績	481件	396件	373件	394件	-																		
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標 -														
	-					-				-																		
	-					-				-																		
市長公約	-				事業計画	地方自治法, 工事請負契約約款, 業務委託契約約款, つくば市契約規則, つくば市工事等検査規程に基づき実施				地方自治法, 工事請負契約約款, 業務委託契約約款, つくば市契約規則, つくば市工事等検査規程に基づき実施する。 また, 検査職員のスキルアップを目指し, 技術研修への参加等により高度な知識の習得に努める。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初										
個別計画	-													事業費(A)	390千円	293千円	447千円	0千円										
根拠法令等	地方自治法, 工事請負契約約款, 業務委託契約約款, つくば市契約規則, つくば市工事等検査規程				活動実績	工事(計321件): 完成検査 235件 中間検査 84件 出来高検査 2件 業務(計73件): 完了検査 68件 中間検査 5件 出来高検査 0件 合計 394件				上半期活動実績 -				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円										
事業分類	C 義務的事業													成果	市が発注する工事等の契約に基づいた適正な履行が確保された。また, 中間検査時における指導助言により, 能率的な施工, 技術水準の向上, 安全管理など施工管理の向上が確認できた。				上半期成果 -				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ				課題	-				-				地方債									0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	工事等の完成, 完了を確認するため。工事等代金の部分払いをするとき, 工事等を中止するとき, 及び契約を解除するときのため。工事等の完成前, 完了前に既済部分を使用するとき, 及び進捗状況等を確認するときのため。				-									-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円						
事業の概要	工事等の完成, 完了を確認するための完成, 完了検査を行う。工事等代金の部分払いをするとき, 工事等を中止するとき, 及び契約を解除するときのための出来高検査を行う。工事等の完成前, 完了前に既済部分を使用するとき, 及び進捗状況等を確認するときのための中間検査を行う。								-				-					一般財源	390千円	293千円	447千円	0千円						
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況												達成	改善目標の進捗状況			-	事業の進捗状況				-	改善目標の進捗状況	
	H30 環境関連性	-			有効性				中: 適切な成果が得られている				有効性				-											
															人件費(B)	20,372千円	19,639千円	26,036千円										
															正職員	従事割合	2.70人	2.70人	3.60人									
															内訳	時間外勤務	223.00時間	178.00時間	178.00時間									
															臨時職員等	無	無	無										
															事業コスト(A+B)	20,762千円	19,932千円	26,483千円										
															H31年度当初積算根拠	-												
															H31年度の方向性	-	理由	-										
															評価	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている				効率性				-			
															総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				-				